

令和6年度 第1回 帯広市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時：令和6年6月26日（水）13時30分～14時30分
場 所：帯広市役所10階 第5A会議室
出席委員：会長、長沢委員（鈴木代理）、小森委員、道見委員、千葉委員、尾形委員、寺山委員、塚本委員、徳田委員、久保委員、石山委員、小林委員、佐々木委員、高橋委員、齋藤委員（藤本代理）、佐藤委員、高木委員、西島委員、（以上18名）
オブザーバー：横塚氏、野島氏、村上氏、梶尾氏
事務局：川角都市建築室長、中田都市政策課長、中島都市政策課長補佐、高橋交通政策係長、豊田主任、堀田主任補、関主任補
配布資料：会議次第、出席者名簿（資料1）、令和5年度事業報告（資料2）、令和5年度収支決算書（資料3）、令和5年度会計監査報告書（資料4）、令和6年度帯広市における自動運転実証事業について（資料5）、令和6年度事業計画（案）（資料6）、令和6年度主な取組の方向性（資料7）、令和6年度収支予算書（案）（資料8）、令和7運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）（資料9）、令和6年度共創モデル実証プロジェクトについて（資料10）

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 事

（1）協議事項

- ・報告第1号 令和5年度事業報告について
- ・報告第2号 令和5年度収支決算について
- ・報告第3号 令和5年度監査報告について
- ・報告第4号 帯広市内における自動運転実証事業について

（2）その他

- ・議案第1号 令和6年度事業計画案について
- ・議案第2号 令和6年度収支予算案について
- ・議案第3号 令和7運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

- 4 閉 会

【会議概要】

3 議事

（1）報告事項

- 報告第1号 令和5年度事業報告について
報告第2号 令和5年度収支決算について
報告第3号 令和5年度監査報告について

（事務局）

《資料2、資料3及び資料4に基づき説明》

（会長）

ただいまの説明について意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

報告1号から3号について、以上のとおりとする。

報告第4号 帯広市内における自動運転実証事業について

(事務局)

《資料5に基づき説明》

(会長)

ただいまの説明について意見、質問等あるか。

(委員)

自動運転の地域コミッティの話があったが、今回の会議をもってコミッティを設置するという認識でよいか。

(事務局)

その他の会議体をもって地域コミッティとすることができることを、自動運転事務局に確認している。これまでも本協議会の中で自動運転の報告をしているため、同じような役割を持たせたいと考えている。

(委員)

他の地域でも同じようにコミッティを設置している例があり、その場合、設置にあたり設置要綱を作成しているのだが、帯広市では作成する予定か。

(事務局)

自動運転事務局から提示された設置要綱の雛形を見ると、活性化協議会の要綱と重複する部分が多いため、新規で作成する必要があるのか問い合わせている。

(委員)

了解した。

(会長)

補足だが、資料中「2 令和6年度 自動運転社会実装推進事業の概要」は国交省の事業としての概要であり、補助額が上限1.5億円と記載されているが、帯広市がこの金額で採択さ

れたというわけではない。正式な採択は今後通知される予定で、今は内示の段階。

(委員)

実証実験ということだが、実施にあたり協議会委員を対象に試乗会などを行う計画はあるか。

(事務局)

来年の1月から通常運行を開始する予定だが、その前段で試乗会を含めた出発式を検討している。

(会長)

昨年度は、特にイベントは実施せずお披露目のような形にとどめたが、今年度は試乗会等を皆さんにご案内させていただくことができると思う。

(会長)

他に、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

報告4号について、以上のとおりとする。

(2) 協議事項

議案第1号 令和6年度事業計画案について

議案第2号 令和6年度収支予算案について

(事務局)

《資料6、資料7及び資料8に基づき説明》

(会長)

ただいまの説明について意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

公共交通計画の進捗状況評価のうち、「市内運行路線における路線バス収支率」と「お出かけサポートバス事業の年間利用者数」において、昨年度の実績値が目標値を下回る結果となったが、事業者としてどのように受け止めているか。

(委員)

収支率については、コロナ禍が明けて、令和4、5年度とほぼ横ばいという状況。

路線バスの利用者数は、コロナ前と比較して、コロナ禍で路線平均約6割、令和4、5年度は約8割で推移しており、約2割のお客様をコロナ禍で失った形。このまま同じことを繰り返しても利用者数は戻らないと考えており、別のアプローチが必要だという認識を持っている。

高齢者お出かけサポートバスについて、十勝バスの実績は令和4年度から令和5年度にかけて2%か3%ぐらいの増加とほぼ横ばい。まだバスを使ったことのないお客様や新たに70代になられた方を対象にバスをPRしていく、そんな取り組みがバス事業者として必要だと考えている。我々としても高齢者お出かけサポートバスの利用率が、コロナ前の数字とはいかなくても、それに近い数字にはしたいと思っているので、PRなどに取り組んでいきたい。

(委員)

収支率だが、コロナ禍が明けて利用者数は微増となっている。ただ、昨今の経済事情で経費が増加しており、心配している。

高齢者サポートバスについては、拓殖バスとしては若干減っている状態。コロナ禍で外出を控えた高齢者が再び外出するようになるようになればと考えている。路線バスの利用者が増えるように、今後も皆様と協力して取り組んでいきたい。

(会長)

社会情勢による経費の増はやむを得ない部分もあるが、いずれにしても収支改善というのは、路線再編等も含めて検討を進めていく必要があり、今後も路線再編分科会で協議していきたいと考えているので、よろしく願いたい。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

議案1号および2号については、本案のとおり決定ということでよろしいか。

《意見等なし》

(会長)

異議なしということで、本案のとおり決定する。

議案第3号 令和7運行年度帯広市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

(事務局)

《資料9に基づき説明》

(会長)

ただいまの説明について意見、質問等あるか。

(委員)

高齢者のニーズ調査で「地域包括支援センターに」という話があったが、具体的なことは決まっているか。

(事務局)

ニーズ調査の方法については、まだ具体的なことは決まっていないが、農村部の町内会から会合の際に説明に来てほしいという問合せを受けており、年度内に大正地区と川西地区それぞれ伺う予定。

(委員)

地域包括支援センターに調査等を依頼する場合は、事前に地域福祉課に声掛けいただきたい。

(事務局)

承知した。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

(委員)

別紙の「18 協議会の開催状況と主な議論」の中で、「9月21日の大正地区乗合タクシー（おおぞライナー）」となっているが、おおぞライナーでは無くあいのりタクシーではないか。

(事務局)

ご指摘のとおりなので、この日の協議内容について確認した上で、記載の方を修正する。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

議題の3については、本案のとおり決定ということでよろしいか。

《意見等なし》

(会長)

異議なしということで、本案のとおり決定する。

(3) その他

令和6年度地域公共交通共創モデル実証プロジェクトの実施について

(事務局)

《資料10に基づき、一般社団法人交通環境まちづくりセンターの「地域交通業界のルーキー育成事業」について説明》

(会長)

こちらは、すでに採択を受けている事業となる。ただいまの説明に対して、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

次に、TK タクシー様より説明いただく。

(TK タクシー)

《資料10に基づき、「部活 MaaS プロジェクト」について説明》

(会長)

ただいまの説明に対して、意見、質問等あるか。

(委員)

この事業については、TK タクシーからも個別に話を聞いているが、弊社では、帯広の森やよつ葉アリーナ十勝などを経由するバスも運行している。現状運行している路線の利用者が減ってしまう運行形態は適切ではないと思うので、バスのお客様とタクシーのお客様の分け目を明確にして事業を進めていただきたい。

夏休みや冬休み期間中に部活という名目だけで利用できると、乗合バスに影響が出ると思うので、既存の事業に影響が出ない形での運行をお願いしたい。

(TK タクシー)

タクシー事業として永續させたいと考えており、料金を安く設定することは考えていない。乗合でいくことで、少し安くなるという保護者の利点は否めないが、300円や500円で利用できるような運賃設定とならないよう考えている。

夏休みや冬休み期間中、この部活コミタクを利用して、例えばメガドンキなど部活と関係のない場所で降りるなどということのないように、使い方も含めてきちんと保護者の方に理解をしていただけるよう周知していく。

(会長)

路線バスの補完に繋がるような形での運行をお願いしたい。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

それでは、次の事業について TK タクシーより説明いただく。

(TK タクシー)

《資料10に基づき、「路線バスとタクシーがコラボする夜のコミタクサービス」について説明》

(会長)

ただいまの説明に対して、意見、質問等あるか。

(委員)

運賃は割り勘のようになるということか。通常の利用と比べると、お客さんの負担がだいぶ減ることになるのか。

(TK タクシー)

割り勘というのは間違いはないが、単純に頭割りするわけではない。おおむね通常の金額の2割引ぐらいをイメージしている。あくまでも相乗りなので、申し込みが1人しかいなければ通常のタクシーとして運行する。2人目が出てくると割り勘になるが、目的地が近い方が損することにならないように運賃を設定する予定。ルート検索・料金設定ができる AI を、NearMe という会社と共同で作成する予定。

(委員)

想定している利用者は、仲間同士というイメージしかないということか。例えば、知らない

人同士で、行先が同じ方面の場合に一緒に乗り合するというイメージはないということか。

(TK タクシー)

仲間同士というのは当然、対象として考えている。また、知らない者同士でも、行先が同じ場合は相乗りできるイメージでいる。この際、AI による判断で、条件が合えばマッチングするし、合わなければそれぞれお1人で乗っていただくことになる。事前に申し込みをしていただいて、マッチングの可否を通知するようなプログラムを組んでいる。

(会長)

これは予約制のサービスということか。

(TK タクシー)

今想定しているのは予約制で、運行を例えば11時の便、11時半の便、12時の便のようにある程度決めて、30分前までに予約していただくというようなイメージで考えている。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

(委員)

相乗りについて、数年前にも話題になったと思う。私ども（あいのりタクシー・バス）は、不特定の方の事前予約といっても、お客様の情報を把握して輸送しているが、予約制であっても個人が特定されない場合、個人の住所が同乗者に知られるなどプライバシーの問題が想定されるが、どのような担保をするつもりか。

(TK タクシー)

降りる場所に関しては、申し込む方が降りたい位置を設定する。いわゆるアプリ配車と同じ仕組みになる。我々としては、家の場所がわからないようにしたいという要望に応えることはできると考えている。

個人を特定するかしないかっていう点だが、申し込む段階で名前や住所を入れていただいて、可能であれば事前決済まで行いたいと考えているので、不特定多数が乗るとは認識していない。

忘年会シーズンの夜中の運行であり、酔客によるトラブルが起きることは想定している。タクシーには全車両にドライブレコーダーが設置されているが、細心の注意を払って運行にあたりたい。なお、NearMeが別な地域で同じような実証実験を行った際には、そういったトラブルはなかったと聞いている。

(会長)

その他、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

それでは次に、十勝バス様より説明いただく。

(十勝バス)

《資料10に基づき、「モビリティハブと人流・物流サービスの連携・協働モデル構築」、「まちなか×大空地区コンパクト+ネットワーク共創人材育成事業」について説明》

(会長)

説明のあった2事業について、意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

こちらの事業もまだ未採択だが、採択が決まったら関係機関と協力して詳細を詰めていただきたい。

本日の議事の方は以上になるが、全体を通して意見、質問等あるか。

《意見等なし》

(会長)

事務局から連絡事項などあるか。

《連絡事項なし》

(会長)

それでは、以上をもって令和6年度第1回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了する

《閉会》